

厚生委員会

市の環境福祉部、こども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎倉持照憲 ○川崎 修
秋山幸則、河本英敏、庄司勝義、末永弘之
中島完一、松本義隆

厚生委員会に付託された議案五件、継続審査中の請願一件について審査を行った。

まず、議案第十九号「平成二十二年津山市一般会計補正予算(第二次)」のうち厚生委員会に係る項目については、審査の結果、全員一致で原案のとおり可決とした。

この審査の中で、住民票・印鑑証明の自動交付機更新に係る予算

に対し質疑がなされ、当局から、現在使用している自動交付機は設置から長期間が経過しているため、同じ機能を備えた自動交付機の購入を行いたいとの説明があった。また、その利用状況については、自動交付機による印鑑証明の交付件数は、年間で約一万件の利用があり、全体の交付件数の約二十五パーセントが自動交付機によるものであるとのことであった。

その他、インフルエンザ予防接種手数料について当局に説明を求めたところ、昨年度のワクチン接種率に基づいた予算を措置しているが、本年十月から平成二十三年三月までを期間とする、低所得者を対象とした新型インフルエンザワクチンに関する国の新しい補助事業が創設されることも踏まえ、改めて、次の十二月議会で予算の編成を行いたいとの報告があった。

議案第二十号「平成二十二年津山市国民健康保険特別会計補正予算(第三次)」については、一般会計からの繰入金について質疑がなされ、委員から、この繰入金に対し評価できるとの意見が出され、審査の結果、全員一致で原案のと

おり可決とした。

議案第二十一号「平成二十二年津山市老人保健特別会計補正予算(第一次)」、議案第二十二号「平成二十二年津山市介護保険特別会計補正予算(第一次)」については、審査の結果、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第二十四号「津山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」については、可燃物の指定ごみ袋について、新たに十リットル袋を追加し、平成二十三年三月一日から、十枚入り百五円で販売を予定しているとの説明があり、審査の結果、妥当と認め、全員一致で原案のとおり可決とした。

継続審査中の請願第二号「津山市身体障害者相談員業務委託事業



◎ 議員はお中元やお歳暮も禁止されています。

の契約、支出等に関する請願について」については、採決の結果、不採択とした。